

令和4年度

浜松市立和田小学校

第1回 学校運営協議会

令和4年4月18日(月)
午後3時～午後4時30分
視聴覚室にて

次 第

※ 開催要件確認（委員の過半数の出席が必要です。）

- 1 校長挨拶
- 2 委員任命書、学校支援コーディネーター委嘱書 交付
- 3 浜松市教育委員会から
 - ・ コミュニティ・スクールの説明
 - ・ 第1回の協議の仕方等について
- 4 自己紹介
 - ・ 委員、学校職員、校務アシスタント
- 5 会長の選出、副会長の指名
- 6 議長、進行役の選出
- 7 熟議
 - (1) 学校運営の基本方針について(承認)
 - (2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 8 その他
 - ・ 情報交換 等
- 9 連絡
 - 今後の運営協議会の予定について
 - ・ 第2回 9月12日(月)
 - ・ 第3回 3月6日(月)

令和4年度 浜松市立和田小学校 学校運営協議会 委員

五十音順

氏名	ふりがな
神谷 みち子	かみや みちこ
齋藤 博	さいとう ひろし
鈴木 滋芳	すずき しげよし
高橋 房子	たかはし ふさこ
高橋 靖博	たかはし やすひろ
竹内 明美	たけうち あけみ
林 實	はやし みのる

CSディレクター 伊藤 裕美 (いとう ひろみ)

学校関係職員

校長 横井 靖二 (よこい やすじ)

教頭 岡本 綾子 (おかもと あやこ)

主幹教諭 泉澤 孝典 (いずみざわ たかのり) ※CS担当職員

令和4年度 浜松市立和田小学校 学校経営構想

1 学校経営構想の基本方針

- (1) 第3次浜松市教育総合計画（後期）の教育理念『未来創造への人づくり』を受けた「夢と希望を持ち続ける子供」「これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供」「自分らしさを大切にする子供」の視点、『市民協働による人づくり』を受けた「子供の育ちの基盤を築く家庭」「子供の育ちを支える地域」の視点を踏まえて『はままつの人づくり』を和田小学校の子供たちの成長の姿で具現する。
- (2) 新学習指導要領の理念の理解を深めるとともに、その内容を踏まえた教育課程を編成し、着実に実施する。
- (3) 天竜中学校区の目指す子供像の具現化を図るために、4つの小中学校における情報交換を密にするとともに、連携・協働を意識した教育活動を計画的に進め、小中一貫教育を推進する。
- (4) すべての教育活動を通じてキャリア教育に重点をおいた教育を推進するとともに、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成を図る。また、情報機器の積極的な活用、効果的な活用を図る。
- (5) 教育課程の編成・実施・評価・改善に組織的に取り組み、その状況を家庭や地域に伝えることで「保護者や地域に信頼される学校づくり」に邁進する。
- (6) 学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール制度を導入する。教育課程を地域社会に開くとともに、コミュニティ・スクール制度を活用することで保護者・地域との一層の連携、協力、協働を推進し、教育活動の充実を図る。
- (7) 令和5年度に開校150周年を迎えることを踏まえた学習や学校行事、児童会活動等を計画・実施し、学校や地域の歴史を学ぶとともに、現在を見つめ、未来について考える機会とする。

2 校訓 及び 学校教育目標

校 訓

自主

協同

学校教育目標

自分を高め、ともに進む子

3 目指す子供の姿

学校教育目標を具現化するために、「知」「徳」「体」の3つの面から目指す子供の姿を以下に示す。

◎学びあう子

- 課題を見つけ、自分の考えをもつ子
- 考えを発表し合い、話し合うことで深め合う子
- ねばり強く学習に取り組み、達成感を感じ、自分を高める子

◎認めあう子

- 自他を知り、自分らしさについて考え、自分と他者の違いを受け入れる子
- 互いのよさを見つけ、自分に自信をもち、他者を励ます子
- 互いを思い合い、自分の判断で正しい行動をする子

◎きたえあう子

- ねばり強く取り組む姿勢や調整力を高め、体を鍛え合う子
- 交通事故防止や防災・防犯の実践力を高め、自分の体を守る子
- 自他の心と体の健康を考え、自分を律し、健康の保持増進を図る子

本年度、特に培っていききたい資質・能力 **ねばり強さ** **向上心** **自律心** **調整力**

4 学校経営目標（目指す学校像）

だれもが主人公、笑顔いっぱい夢いっぱいの学校

子供も職員も一人一人が、自分のよさを感じ、互いに寄り添い、認め合い、支え合い、励まし合いながら生き生きと活動することを通して自他を高め、夢や希望をふくらめることができる学校を目指す。

5 経営の重点

<教育活動全体を通じて>

(1) キャリア教育の推進

キャリア発達の基盤となる力の育成を目指し、特別活動を要として各教科、領域における指導を工夫する。

本校で押さえた4つの基礎的・汎用的能力と、その中で重点とする資質・能力

- 人とかかわる力
- 自分を見つめる力
- 学びを深める力
- 未来につなげる力

(2) 基盤となる力の育成

すべての教育活動を通して、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成を図る。また、情報機器を積極的に活用し、効果的な活用を図る。

<「学びあう子」の育成のために>

(3) 授業改善の推進

- 学習習慣の定着と授業規律の徹底を基盤とした基礎基本の定着を図る。
- カリキュラムマネジメントと「主体的・対話的で深い学び」を意識した単元構想を工夫し、「生きる力」を育成する。
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
- 子供の「見通しと振り返り」、教師の「指導と評価の一体化」を大切にした授業を推進する。

(4) 発達支援教育の充実

- 児童理解に努め、職員及び家庭等との連携・協働による個に応じた指導を推進する。

<「認めあう子」の育成のために>

(5) 心の教育の推進

- 主体的な学び、対話的な学びを重視した道徳教育の充実を図り、自分事として考えたり、物事を多面的にとらえる力、正しく判断する力を育成したりする。
- 月1回「心の日」を設定し、他者との関わり方を学ぶ機会を設ける。
- 異学年集団での活動を継続的に取り入れ、思いやりや助け合いの心、リーダーシップとフォロワーシップを発揮する場を設ける。

(6) 生徒指導の充実

- 温かな人間関係を築く学級経営を基盤に、ほめて伸ばす指導や気持ちに寄り添う相談指導を充実させ、自己有用感を高める。

<「きたえあう子」の育成のために>

(7) 体力向上の取組

- 体を動かすことを楽しみ、進んで体力向上に努める力を育てる指導や機会の充実を図る。

(8) 安全教育の推進

- 自他の命を大切にし、臨機応変に行動する力を育てる指導を進める。(交通・防犯・災害)

(9) 生活習慣の改善

- 自己の生活を振り返り、自ら改善する力を育てる。(健康・食育)

6 目指す教職員の姿

(1) 一人の教師として

- 子供に寄り添い、子供理解に努める教職員(人間味あふれる教職員)
 - ・ 子供をかけがえのない一人の人間として受け止め、寄り添う。
 - ・ 進んで遊んだり交流したりして様々な視点で子供のよさを把握する。
 - ・ どの子供にも温かなまなざしや声掛け、指導、支援等を行う。
 - ・ よさを認める言葉や過ちを論ずる言葉を大切にして、子供のやる気を引き出す。
- 自己研鑽に励む教職員
 - ・ 「分かる授業・楽しい授業」を実現するために努力を惜しまない。
 - ・ キャリアステージを考え、本校での自分の役割を意識する。

(2) 組織として

- 組織で考え、動き、支え合う教職員(ワンチーム)
 - ・ 学年全員で協力して学年運営を進める。(学年グランドデザインの作成)
 - ・ 情報を共有し、組織で対応する。(一人で抱えない、対応しない。)
 - ・ よい表れも共有し、みんなでほめ、励ます。
 - ・ 自分の得意を生かし、苦手は助け合う。
- 働き方を意識し、健康で元気に仕事をする教職員



令和4年度 浜松市立和田小学校 グランドデザイン

新学習指導要領完全実施

- 資質・能力の3つの柱
 - カリキュラム・マネジメント
 - 社会に開かれた教育課程
- 令和の日本型学校教育の具現

第3次浜松市教育総合計画

- (後期3年目)
- 市民協働による人づくり
 - 未来創造への人づくり

天竜中学校区の目指す子供像

- 夢や希望、志をもち、その実現を目指して努力する人
- 困難に遭遇してもくじけずねばり強くやり遂げる人
- 人々の幸せや地域の発展のために貢献する人

学校教育目標「自分を高め、ともに進む子」

校自主
訓協同

目指す子供の姿

学びあう子

- 課題を見つけ、自分の考えをもつ子
- 考えを発表し合い、話し合うことで深め合う子
- ねばり強く学習に取り組み、達成感を感じ、自分を高める子

認めあう子

- 自他を知り、自分らしさについて考え、自分と他者の違いを受け入れる子
- 互いのよさを見つけ、自分に自信をもち、他者を励ます子
- 互いを思い合い、自分の判断で正しい行動をする子

きたえあう子

- ねばり強く取り組む姿勢や調整力を高め、体を鍛えあう子
- 交通事故防止や防災・防犯の実践力を高め、自分の体を守る子
- 自他の心と体の健康を考え、自分を律し、健康の保持増進を図る子

特に培っていききたい資質・能力 **ねばり強さ 向上心 自律心 調整力**

学校経営目標「だれもが主人公、笑顔いっぱい夢いっぱいの学校」

子供も職員も一人一人が、自分のよさを感じ、互いに寄り添い、認め合い、支え合い、励まし合いつながりながら生き生きと活動することを通して自他を高め、夢や希望をふくらめることができる学校

キャリア教育の推進（すべての教育活動を通して実践）

- 《人とかがわる力》（人間関係形成・社会形成能力）
- 《自分を見つめる力》（自己理解・自己管理能力）
- 《学びをふかめる力》（課題対応能力）
- 《未来につなげる力》（キャリアプランニング能力）

知



<授業改善の推進>

- 基礎基本の確実な定着
- カリキュラム・マネジメントと単元構想
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 児童の「見通しと振り返り」、教師の「指導と評価の一体化」
- <発達支援教育の充実>
- 児童理解と個に応じた指導

徳



<心の教育の推進>

- 道徳教育の充実
- 他者との関わり方を学ぶ機会「心の日」の設定
- 異学年集団による活動
- <生徒指導の充実>
- ほめて伸ばす指導や気持ちに寄り添う相談・指導

体



<体力の向上>

- 体を動かすことを楽しみ、進んで体力向上に努める力を育てる指導や機会の充実
- <安全教育の推進>
- 自他の命を大切にする指導（交通・防犯・災害）
- <健康教育・食育の推進>
- 生活習慣の見直しと改善

学習の基盤となる能力の育成

言語能力

情報活用能力（ICTの活用）

問題発見・解決能力

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

保護者（家庭）

教育機関

行政機関

学校との
連携・協力・協働

医療機関

地域（自治会）

各種
ボランティア

PDCAサイクルが機能し、社会に開かれた教育課程

<目指す教職員の姿>

- 子供に寄り添い、子供理解に努める教職員
- 自己研鑽に励む教職員
- 組織で考え、動き、支え合う教職員（ワンチーム）
- 働き方を意識し、健康で元気に仕事をする教職員

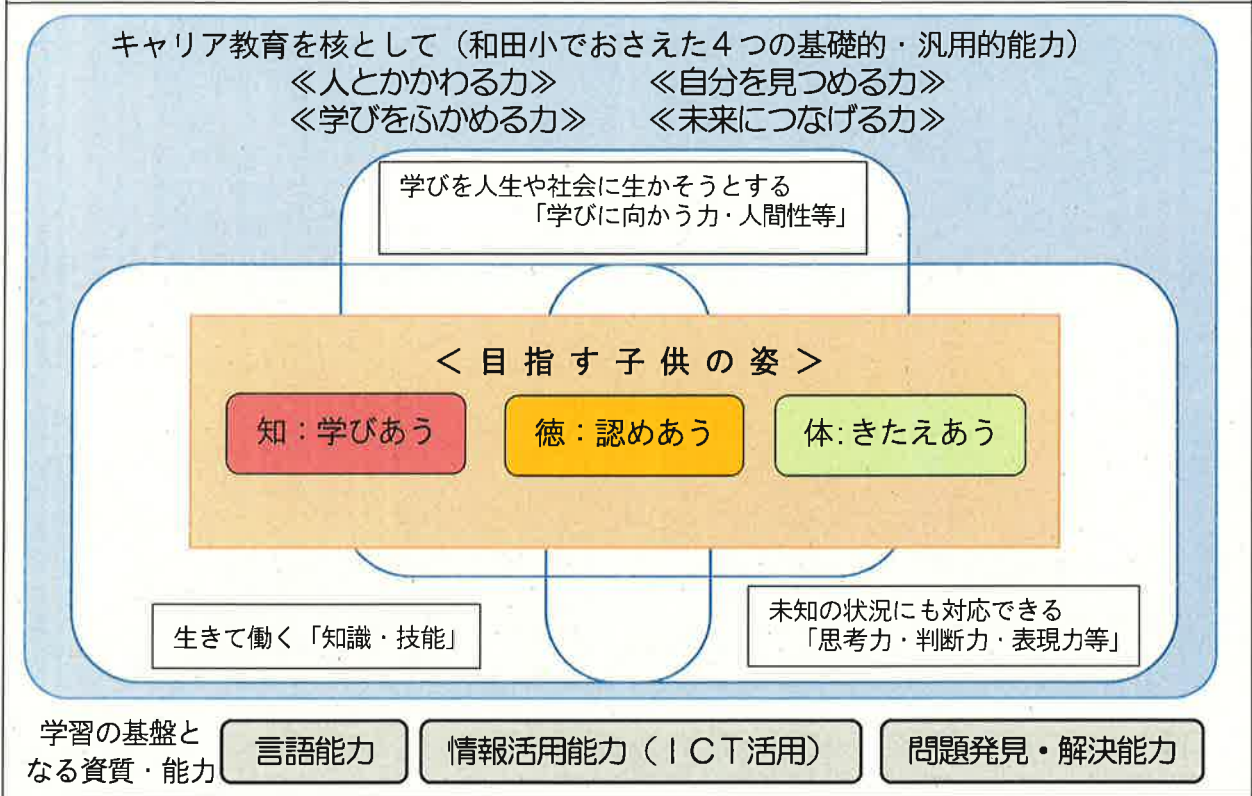
保護者や地域に信頼される学校づくりの実現

資料

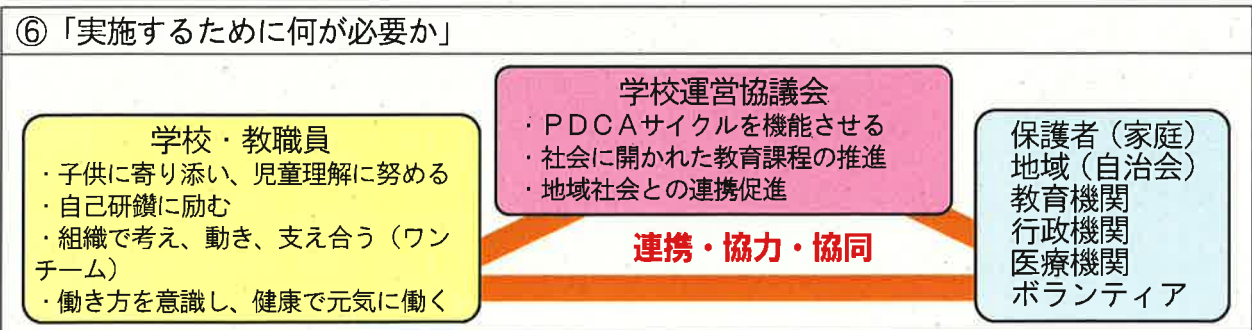
新学習指導要領総則で示された枠組みから見た本校の教育活動

学校教育目標「自分を高め、ともに進む子」

- ①「何ができるようになるか」(教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力)
- ②「何を学ぶか」(各教科・領域、特別活動等、縦横のつながりを踏まえたカリキュラム・マネジメント)



<p>③「どのように学ぶか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の確実な定着 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・個別最適な学びと協働的な学びの実現 ・ICT機器の活用 	<p>④「子供の一人一人の発達をどのように支援するか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な児童理解と個に応じた指導の充実 ・ほめて伸ばす指導 ・気持ちに寄り添う相談・指導 ・他者との関わり方を学ぶ機会の設定 	<p>⑤「何が身に付いたか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の「見通しと振り返り」、教師の「指導と評価の一体化」 ・活用の機会の設定 ・キャリア・パスポートの活用
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



浜松市立和田小学校開校150周年記念行事等について

和田小学校は、明治6年に金原明善翁が家塾を寄付し、公立安間小学校として開校したのが始まりである。開校以来149年が過ぎ、長い歴史の中で地域に大きな役割を果たしてきた。今後も地域から信頼され、末永く愛される学校づくりを推進していくにあたり、節目となる開校150周年を記念する行事等を計画し、実行していきたいと考える。

そのために、学校、保護者、地域住民の代表者による、「浜松市立和田小学校150周年記念行事等実行委員会」を設置し、企画、運営を進めていきたい。

1 実行委員会について

(1) 組織

① 役員

顧問	4名	(自治会長)
委員長	1名	
副委員長	2名	(PTA会長もしくは顧問、校長)
委員	若干名	(PTA理事会役員、学校教職員、有志)
会計	2名	
会計監査	2名	(PTA会計監査)

② 部会

総務部	(記録、会計を含む)
行事部	(記念品を含む)
記念誌部	

(2) 委員会

令和4年度2学期には実行委員会を立ち上げ、委員会や部会等を開催して、計画的に一連の事業を進める。

2 事業について

150周年記念行事等として以下の事業を行う。

- ① 記念式典 … コロナ禍でもあり、本校の体育館ではなく、浜松アリーナで開催することも考えられる。
記念講演や公演の実施。
- ② 記念品 … 航空写真の撮影。写真の販売。
下敷きやクリアファイルの制作。
- ③ 記念誌 … これまでの歴史を振り返る。
子供たちの作文、関係者のメッセージなど
- ④ 記念制作 … 体育館東側の壁面(中央のパネルの左側)に子供たちの共同制作による校章のレリーフを製作する。
- ⑤ 記念植樹



3 予算

P T Aが資源物回収の収益金を150周年記念行事のために毎年10万円ずつ積み立てていて、100万円になる見込み。

周年	西暦	和暦	主なできごと	周年	西暦	和暦	主なできごと
0	1873年	明治 6年	7月10日公立安間学校創立 9月15日開校式	76	1949年	昭和 24年	
1	1874年	明治 7年		77	1950年	昭和 25年	
2	1875年	明治 8年		78	1951年	昭和 26年	
3	1876年	明治 9年		79	1952年	昭和 27年	
4	1877年	明治 10年		80	1953年	昭和 28年	
5	1878年	明治 11年		81	1954年	昭和 29年	浜松市立和田小学校
6	1879年	明治 12年		82	1955年	昭和 30年	
7	1880年	明治 13年		83	1956年	昭和 31年	
8	1881年	明治 14年	村立小学校安間小学校	84	1957年	昭和 32年	金原明善胸像除幕式 (S32.9.15)
9	1882年	明治 15年		85	1958年	昭和 33年	校歌制定(S33.7.10)
10	1883年	明治 16年		86	1959年	昭和 34年	
11	1884年	明治 17年		87	1960年	昭和 35年	
12	1885年	明治 18年		88	1961年	昭和 36年	
13	1886年	明治 19年	尋常小学校安間学校(M20.2.2)	89	1962年	昭和 37年	
14	1887年	明治 20年		90	1963年	昭和 38年	
15	1888年	明治 21年		91	1964年	昭和 39年	
16	1889年	明治 22年	橋田尋常小学校 (M23.3.25)	92	1965年	昭和 40年	
17	1890年	明治 23年		93	1966年	昭和 41年	
18	1891年	明治 24年	和田尋常小学校 現在地に移転 (M24.9.1)	94	1967年	昭和 42年	
19	1892年	明治 25年		95	1968年	昭和 43年	
20	1893年	明治 26年		96	1969年	昭和 44年	
21	1894年	明治 27年		97	1970年	昭和 45年	
22	1895年	明治 28年		98	1971年	昭和 46年	北鉄筋校舎完成(S47.3.25)
23	1896年	明治 29年		99	1972年	昭和 47年	
24	1897年	明治 30年		100	1973年	昭和 48年	創立100周年記念式典(S48.11.3)
25	1898年	明治 31年		101	1974年	昭和 49年	
26	1899年	明治 32年	和田尋常高等小学校 (M32.4.27)	102	1975年	昭和 50年	
27	1900年	明治 33年		103	1976年	昭和 51年	
28	1901年	明治 34年		104	1977年	昭和 52年	南鉄筋校舎完成(S.3.10)
29	1902年	明治 35年		105	1978年	昭和 53年	
30	1903年	明治 36年		106	1979年	昭和 54年	
31	1904年	明治 37年		107	1980年	昭和 55年	体育館新設 (S55.4.21)
32	1905年	明治 38年		108	1981年	昭和 56年	
33	1906年	明治 39年	和田尋常小学校 (M39.10.18)	109	1982年	昭和 57年	
34	1907年	明治 40年		110	1983年	昭和 58年	和田東小学校分離 (S58.4.1)
35	1908年	明治 41年		111	1984年	昭和 59年	プール改築(S60.3.15)
36	1909年	明治 42年		112	1985年	昭和 60年	運動場改修整備、正門設置 (S61.3.26)
37	1910年	明治 43年		113	1986年	昭和 61年	
38	1911年	明治 44年	和田尋常高等小学校	114	1987年	昭和 62年	
39	1912年	明治 45年		115	1988年	昭和 63年	
40	1913年	大正 2年		116	1989年	平成 元年	
41	1914年	大正 3年		117	1990年	平成 2年	飼育小屋設置 (H3.3.14)
42	1915年	大正 4年		118	1991年	平成 3年	
43	1916年	大正 5年		119	1992年	平成 4年	
44	1917年	大正 6年		120	1993年	平成 5年	
45	1918年	大正 7年		121	1994年	平成 6年	
46	1919年	大正 8年		122	1995年	平成 7年	
47	1920年	大正 9年		123	1996年	平成 8年	
48	1921年	大正 10年		124	1997年	平成 9年	
49	1922年	大正 11年		125	1998年	平成 10年	
50	1923年	大正 12年		126	1999年	平成 11年	
51	1924年	大正 13年		127	2000年	平成 12年	
52	1925年	大正 14年		128	2001年	平成 13年	体育館床工事完了 (H13.9.1)
53	1926年	大正 15年		129	2002年	平成 14年	
54	1927年	昭和 2年		130	2003年	平成 15年	創立130周年記念式典、木彫「創造」作成 (H15.6.21)
55	1928年	昭和 3年		131	2004年	平成 16年	
56	1929年	昭和 4年		132	2005年	平成 17年	
57	1930年	昭和 5年		133	2006年	平成 18年	
58	1931年	昭和 6年		134	2007年	平成 19年	
59	1932年	昭和 7年		135	2008年	平成 20年	
60	1933年	昭和 8年		136	2009年	平成 21年	
61	1934年	昭和 9年		137	2010年	平成 22年	通級指導教室(LD等) 「あんず教室」開設
62	1935年	昭和 10年		138	2011年	平成 23年	
63	1936年	昭和 11年		139	2012年	平成 24年	
64	1937年	昭和 12年		140	2013年	平成 25年	創立140周年記念式典 (H25.11.9)
65	1938年	昭和 13年		141	2014年	平成 26年	
66	1939年	昭和 14年		142	2015年	平成 27年	
67	1940年	昭和 15年		143	2016年	平成 28年	
68	1941年	昭和 16年	和田村国民学校	144	2017年	平成 29年	
69	1942年	昭和 17年		145	2018年	平成 30年	
70	1943年	昭和 18年		146	2019年	令和 元年	
71	1944年	昭和 19年		147	2020年	令和 2年	
72	1945年	昭和 20年		148	2021年	令和 3年	
73	1946年	昭和 21年		149	2022年	令和 4年	発達支援学級(知的) 「ひまわり学級」開設
74	1947年	昭和 22年	和田村立和田小学校	150	2023年	令和 5年	創立150周年記念式典
75	1948年	昭和 23年					